



たちばな 3月号

〒793-0065 西条市櫛木54-1
TEL (0897) 57-9543
FAX (0897) 57-6221
eメール tachibana-k@saijo-city.jp

橘校区の人口（1/31現在）
総人口1,770人（－8）
（男 856人）（－4）
（女 914人）（－4）
世帯数 835（－4）

令和7年3月1日
橘公民館発行
通巻531号

ローソン移動販売

5日（水）12日（水）
19日（水）26日（水）

1. 15:00～15:10 野々市集会所
2. 15:15～15:25 櫛木西
3. 15:30～15:40 櫛木集会所
4. 15:45～15:55 西泉中
5. 16:00～16:10 西泉東
6. 16:15～16:25 西田

ギャラリー橘

色とりどりのクラフトで作られた作品を
展示中。
これもクラフト！？というような作品も♪



3月の行事予定

日	曜	公民館関係・地区行事
1	土	休館日
2	日	休館日 防災士定例会（19：00～）
5	水	民生児童委員定例会（19：30～）
6	木	防犯協会定例会（19：30～）
7	金	さわやかクラブ世話人会（13：30～）
8	土	休館日
9	日	休館日
15	土	休館日
16	日	休館日
19	水	交通安全協会定例会（19：30～）
20	木	休館日（春分の日）
22	土	休館日
23	日	休館日 大人のピアノ発表会（10：30～）
29	土	休館日
30	日	休館日

3月 カワセミ号（移動図書館）

橘公民館 13日・27日（木）14：00～14：30

1/30 150周年出前授業（木）

橘小学校で『ようこそ橘の先輩』出前授業が行われました。卒業を目前に控えた6年生が、橘にゆかりのある先輩方と交えてグループ対話をし、大人顔負けの質問も飛び交う中で心に残った言葉を書き留めていき、発表してくれました。

授業の後は、みんなで給食を食べながら交流を重ね、お昼休みには石碑『のびゆく橘』を色鮮やかに蘇らせました。みんなの輝かしい将来が楽しみです♪



2/2 自主防災会（日）

今回の定例会では危機管理課より講師を迎え、「避難行動要支援者制度」についての説明会を開催しました。

「避難行動要支援者」とは、災害時に自力で避難することが困難な方で地域の支援を必要とする方のことです。参加者は、制度の目的や要支援者名簿の作成と活用方法について教わりました。

橘校区自主防災会では、12月8日の防災訓練を振り返り、単位自治会ごとに2月から3月の間に、「避難行動要支援者」を再調査し、要支援者の方も支援する方々も安心して暮らせる橘校区を目指して活動をしています。

ご協力をよろしくお願いします。



大人のピアノ発表会

日時：3月23日（日）

10:30 開演

場所：橘公民館 2階ホール

お客様をお迎えして、ピアノ教室発表会を行います。出演者一同張り切って練習を頑張っています。まだまだ未熟な演奏ではございますが、ご近所・お友だちお誘い合わせてご来場いただけますと幸いです。

橘小地域未来塾

毎週金曜日の放課後に、橘小学校4、5年生を対象とした学習支援活動を行っています。

教員OBの方々が、宿題やわからない所などを指導してくださり、落ち着いた場所で質問しやすい環境の中、チャレンジ問題などにも熱心に取り組んでいます。

学習を通して、支援員さんとも交流が深まり、楽しく学べる場となっています。



1/16(木) いきいきたちばな

年始めの「いきいきたちばな」は、石鎚神社 権宮司の十亀博行さんをお招きしての新春講話『神様まつりと人生儀礼』でした。
今年(乙巳)はどんな年になりそうか、暦のお話や感謝の気持ちとは？など普段何気なく過ごしている毎日の中に、たくさんの先人の知恵や想いが溢れていることを改めて思い返す貴重な時間となりました。



1/24(金) 竹箒づくり

橘小5年生がさわやかクラブの皆さんに竹箒の作り方を教わりました。
見よう見まねで作っていた子どもたちですが、力が必要なところは手伝ってもらいながらあっという間に完成！
最後には、自分で作った竹箒で綺麗に掃除をしました。1年間大切にに使ってくださいね♪



2/9(日) たちばな愛ちゃん教室

今年度最後の愛ちゃん教室は、ピザづくりでした。19名の児童達は、持ち寄った具材を交換しながら生地に盛り付けをしたり、オーブンで焼き上げたばかりのピザを専用のカッターで切り分けるのを手伝ったりと相談や協力をしつつピザづくりを楽しんでいました。
また、待ち時間を利用して後片づけやクリームソーダづくりにも挑戦しましたが、高学年生が低学年生をさりげなくサポートしつつ全員で作業を分担している光景に子ども達の成長を感じました。

1/21(火) 昔からの遊び

橘小1・2年生がさわやかクラブの皆さんに昔からの遊びを教わりました。
けん玉・おはじき・あやとりやこまなど、初めて触るものや、遊ぶのに工夫が必要なものもあり、手こずりながらも時間いっぱい楽しそうに遊んでいました。
教わったお礼に、子どもたちから手話付きの歌と肩たたきのプレゼントをする等、とても和やかな交流の時間となりました。



1/30(木) ひょうたん教室

講師に藤田勉さんをお迎えし、ひょうたんキーホルダーの色付け体験をしました。
水の上に垂らした塗料の中にひょうたんを浸け、その後乾かすという工程。
減多に体験できない作業に最初は緊張していた皆さんでしたが、思い思いの色を選びオリジナルの色付けが終了しました。次回は金具を取り付けて完成となります。



ふるさと『たちばな』

～石鎚神社～

祭神は石土毘古神(いしづちびこのかみ)、この神はイザナギ・イザナミの命(みこと)の御子である。日本霊異記(りょういき)という本によれば、上古、石鎚山上に石土毘古神を祀(まつ)ったことが伝えられています。
修験(しゅげん)道場の山として、神仏混合の石鎚蔵王大権現(ざおうだいごんげん)とっておりました。役小角(えんのおづね)が石鎚山を開き、神野郡(後の新居郡)の高僧石仙が石鎚神社を創始し、石仙の弟子上仙が横峯寺や前神寺を開き石鎚神社の別当としたと伝えられています。
石鎚蔵王権現と称していたのを、明治になって、社名を石鎚神社と称するようになりました。そして県内6県社の内に数えられました。石鎚山頂には頂上社、中腹に成就社、口之宮の本社と3社を総称して石鎚神社と称しております。
毎年7月1日から10日間はお山開きで、近郷近在は勿論、中国路から九州路等から多数の登山者でにぎわっております。



～山の神さん～

橘地区の南の山への入山口には、山の神さんを祀っているところが多い。調べてみると、西泉の南の墓地の上の山の神さん、西泉向原の山の神さん、坂元の南の山の神さん、北山の南の山の神さん、長谷口の山の神さん、長谷部落東側の山の神さんと六ヶ所もあり、すべて入山口にお祀りしてあります。
昔は山を神聖視し、山に依存することが多かったのです。木材を伐り出すことはむろんのこと、日常のかまどに使用する薪や炭など燃料は殆ど山にたよりました。また田畑へ入れる肥料も山草を刈って使用しました。そんな関係で農村の人たちは暇さえあれば山に入り働きました。純朴な田舎の人たちは山仕事での安全を祈り山を神聖視してその入山口には必ず山の神を祀り、その行き帰りには敬虔(けいけん)な祈りを捧(ささ)げたものであります。

『ふるさと たちばな』(明比 学著)(昭和52年 編集発行)より抜粋

地域で子育て支援してみませんか？

子育てのお手伝いをしてくださる会員を募集中！年齢・性別・経験問わず活躍中です。

西条ファミリー・サポート・センターは、地域で育児の援助を行う人(サポート会員)と受けたい人(依頼会員)が会員となり、子育ての助け合いを行う会員組織です。

※報酬 1時間600円～900円 (有償のボランティア活動)
サポート会員として活動するためには、センターが開催する講習会の受講が必要です。
○令和7年度1回目の講習会:6月25日～27日に開催予定
○センター・講習会の詳細「西条ファミリーサポート」で検索

【会員登録・お問合せ】
西条ファミリー・サポート・センター
(西条市役所 保育・幼稚園課内)
西部支所 市民福祉課 こども係
【電話番号】 0897-53-1666